

# 衆議院青少年問題に関する特別委員会ニュース

平成 22.9.8 第 175 回国会第 4 号（閉会中審査）

9月8日（水）第4回の委員会が開かれました。

## 1 派遣委員からの報告聴取

- ・衆議院ドイツにおける青少年問題等実情調査議員団の調査概要を、議員団を代表して、池坊委員長から報告を聴取しました。

## 2 青少年問題に関する件

- ・荒井国務大臣（共生社会政策担当大臣）、渡辺総務副大臣、細川厚生労働副大臣、高井文部科学大臣政務官、山井厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 佐藤 ゆうこ君（民主）

- ・学校が自転車通学を認めている場合は、自転車保険の加入を義務付けたり、その重要性の周知徹底を図るべきであると考えますが、政府の見解を伺いたい。
- ・遊技場の設置を制限する地域の対象に複合施設も加えること、また、制限地域も拡大する必要があると考えますが、政府の見解を伺いたい。

### 道休 誠一郎君（民主）

- ・児童虐待問題への取組を強化するため、児童相談所の人員配置増や専門性を高める施策が必要ではないか。
- ・子ども・若者ビジョンにおける最重要施策について伺いたい。

### 吉泉 秀男君（社民）

- ・政府に内閣総理大臣を本部長とする児童虐待防止対策推進本部を設置すべきではないのか。
- ・子育てに困難を抱えている家庭に対する相談支援の現状について伺いたい。

### 松浪 健太君（自民）

- ・ドイツにおけるベビークラッペ及び我が国におけるこのとりのゆりかごの取組について、大臣の見解を伺いたい。
- ・ドイツでは、里親に預けてから8週間を過ぎると実親の同意がなくても養子縁組が可能となることに対し、大臣の見解を伺いたい。

### あべ 俊子君（自民）

- ・深刻な就職難に直面している大学生を支援するため、「卒業後も最低3年間は新卒扱いとする」ことを求める日本学術会議の提言（平成22年7月）について、大臣の見解を伺いたい。
- ・就職に関して、新卒要件の緩和を行うことについて、大臣の決意を伺いたい。

### 高木 美智代君（公明）

- ・国家戦略担当大臣である荒井国務大臣が、省庁横断的に児童虐待防止に取り組む決意を改めて伺いたい。
- ・青少年が安全に安心してインターネットを利用するための環境を整備するに当たり、政府に現状と今後の取組について伺いたい。

### 宮本 岳志君（公明）

- ・児童虐待に係る通告の増加に対応するため、児童福祉施設の職員の増員が必要と考えますが、平成23年度の概算要求における厚生労働省の予算要求の状況を伺いたい。
- ・児童虐待のリスクが大きいひとり親家庭に対する、経済的支援と保育所利用の促進が必要と考えますが、政府の見解を伺いたい。